

教育システムの第三段階は、卒業後の『自己確立』の時期である。在学期間中に習得した知識や技術は、専門分野で活躍する土台となるものであるが、卒業後も継続して学び、向上して行くことが大切であることは改めて言うまでもない。本校では同窓会と滋慶医療経営管理研究センターを中心に、卒業生や業界で働く人々を対象にした生涯教育の様々な教育プログラムを実施しているため、これらを積極的に活用して、プロのスペシャリストとして活躍してほしい。このように、卒業後の期間は、在学中に計画した自分自身のキャリアをさらに発展させる『キャリア開発』の時期とも言える。生涯にわたって自分のキャリアを育て、成長し続けられるよう、学園として支援体制を整えている。

本校では、入学前から卒業後までを一貫した「キャリア教育」として捉え、学生個々人の生き方、学び方、働き方を自ら考え、実行できるよう支援しているため、充実した学生生活を送れるように努力を重ねてほしい。

(2) 海外研修プログラム

本校ではカリキュラムの一環として、海外研修プログラムを取り入れている。このプログラムの目的は、海外における技術教育と実務の現状を実際に体験して、現在学んでいる知識や技術の重要性を再認識するとともに、国際交流を通じて豊かな人間性を育むことである。各学科の海外研修先（予定）は、以下の通りである。

- ① クローバーパーク・テクニカルカレッジ（アメリカ・ワシントン州）：バイオ・再生医療学科
シアトルの企業やワシントン大学等の研究所などを見学・研修
- ② ロマリнда・ユニバーシティ（アメリカ・ロサンゼルス市近郊）：臨床工学技士科（昼）
ロマリнда大学附属病院およびメディカルシミュレーションセンターなどを見学・研修
- ③ セリトス・カレッジ（アメリカ・ロサンゼルス市内）：スポーツ科学科
カリフォルニア大学ロングビーチ校アスレティックトレーナールームなどを見学・研修
- ④ 廣東医科大学（中国・東莞市近郊）：鍼灸スポーツ学科
解剖実習、および大学附属病院、廣東薬学院などを見学・研修
- ⑤ 上海中医薬大学（中国・上海市内）：柔道整復スポーツ学科・柔道整復師学科・臨床工学技士科（夜）
解剖実習、および大学附属病院、提携大学などを見学・研修
- ⑥ 診療放射線技師学科・人工知能学科については、現在、海外研修提携先とプログラムを調整中

(3) 生涯教育システム

学校法人大阪滋慶学園では、高度職業教育の一環として「滋慶医療科学大学・大学院」を設置し、卒業生のキャリアアップを支援している。患者の安全を守り、医療の質の向上を図ることを目的とした、医療安全管理の専門職を養成する医療安全管理学修士課程であり、一定のキャリアを積んだ専門学校卒業生にも入学資格がある。

また「滋慶医療経営管理研究センター」では、在校生、卒業生、業界の方々や地域の方々を対象とした生涯教育の機会を提供している。卒業生にとっては、日々変化を続けている業界における最新の知識や技術の再教育の場であり、またより高度な資格を取得する場ともなっているため、大いに活用してもらいたい。開講講座としては、医療従事者対象の専門セミナーや各種資格検定講座などがある。

(4) 大学編入

本校では、学生の卒業後の進路指導の一環として、大学編入への対策指導も行っている。専門学校での学習をもとに、大学に編入学してより深く知識を学習しようという意欲がある学生に対して、本校よりさまざまな資料を提示し、進路の選択を援助している。編入学希望の学生は、クラス担任および保護者と相談の上、早期より準備を進める必要がある。